

現代ギター



岩永善信 Yoshinobu Iwanaga

写真: 森田 一

恒例となった岩永善信の10弦ギターによる同一プログラム連続リサイタルが、2016年11月20日に名古屋宗次ホール、11月26日に東京 Hakuju Hall で開催された。プログラムは今年も自編を中心とした、独自のレパートリーで、サン＝サーンス、ドッジソン、没100年を迎えたグラナドスの作品を中心に構成された。サン＝サーンスはピアノ独奏曲「左手のための6つのエチュード」Op.135から〈フーガ風に〉〈無窮劫〉〈ブーレ〉の3曲。昨年のコダイに続いてギターではあまり馴染みのない作曲家だが、有名な〈動物の謝肉祭〉の作風とは異なるバロック風で興味深い。毎年、新たなギターレパートリーを発掘し挑戦する姿勢には改めて敬点を表した

い。グラナドスも有名曲〈アンダルルーサ〉を除いてはあまり弾かれることのない曲を確かなテクニックで聴かせた。プログラム：アントレ&シャコンヌ (S.L. ヴァイス)、左手のための6つのエチュードより (サン＝サーンス)、エビローク、スペイン舞曲第5番 (アンダルルーサ)、昔話、スペイン舞曲第6番 (ホタ) (グラナドス)、バルティータ (ドッジソン)、前奏曲、祭りの思い出、東洋の行進曲、サバテアード (グラナドス)

[2016年11月26日 東京・Hakuju Hall]